

年 組 名前

2020年5月16日付東濃版

## 瑞浪 恵照山正宗寺の池

# カルガモ子育て 心むひな11羽

瑞浪市北小田町の恵照山正宗寺の境内の池で、カルガモが子育てをしている。同寺でカルガモのひなが生まれたのは初めてで、池を泳ぎ回る愛くるしい姿が訪れる人々を和ませている。

住職の中野浩史さん(西三)によると、四月二十二日に、池の中にある島の茂みに卵が十二個あるのを父の啓一さん(モ)が見つけた。浩史さんが近くに防獣ネットを張って見守ってきたところ、五月十四日の朝に、ふ化したひなが池を泳いでいる姿が見られた。

生まれたひなは十一羽。十五日には親ガモのそばをすいすいと泳いだり、木陰で親ガモに寄り添ったりしていた。浩史さんは「人間界は新型コロナウイルスで大変だが、自然界の鳥はお構いなしで、卵を抱くという自分のなすべきことをしたのですね」としみじみ。「寺に来た人たちも喜んで、無事に育ってほしい」と願った。

(片岡典子)



池を泳ぐカルガモの親子＝瑞浪市北小田町の恵照山正宗寺で

※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問1：ひなは11羽います。写真に○をつけましょう。

問2：11羽になるように、ひなを2つのなかまにわけましょう。

- (1) 3羽と ( ) 羽      (2) 6羽と ( ) 羽  
(3) ( ) 羽と1羽      (4) ( ) 羽と ( ) 羽